

対策区分	4.木の薫る空間づくり	市町名	津市
------	-------------	-----	----

番号	区分	事業名
5	基本・特別	公共建築物等の県産材による木造・木質化
事業費 11,795,000円（うち交付金：10,943,000円）		

1. 事業の目的
 森林を支える社会づくりや木の薫る空間づくりを目指すため、公共空間における木造・木質化に資する。

2. 事業の内容
 新設した津市斎場において、市民が憩いふれあう机、椅子を津市産の木材で整備した。
 【事業実施主体】： 津市
 【事業費】： 11,792千円
 【事業の規模（事業量）】： 木製テーブル10台 木製椅子250脚 座卓6台 ソファ4台
 天国へのポスト2個
 【事業実施期間】： 平成26年4月1日から平成27年1月1日

3. 事業の実績と効果
 施設利用予定人数 30人～50人/日×360日＝10,000人～18,000人


4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

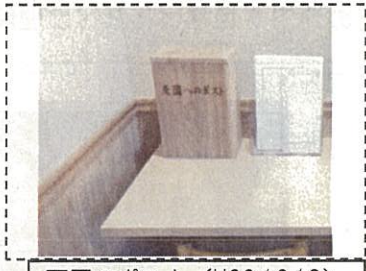
評価の視点	コメント
有効性	木を使ったことにより、心が癒され、また木の薫る空間づくりにより、施設に安らぎを感じさせることができた。
効率性	施設整備に合わせて椅子や机を整備することができた。
公益性（波及度）	年間10,000人から18,000人の利用が見込まれる。

【今後の取組方向】
 次年度以降も、公共建築物等の木造・木質化に取り組んで行く。


5. 写真



新斎場ロビー（H26.12.18）



天国のポスト（H26.12.18）



テーブル・イス（H26.12.18）

6. その他特記事項
 ホームページにより「みえ森と緑の県民税」を活用したことを周知。場内では「みえ森と緑の県民税」を活用した旨を表記した表示板を設置。

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	松阪市
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本・特別	都市公園整備事業
事業費 4,998,240円(うち交付金:4,160,000円)		

1. 事業の目的
 公共空間である公園において市産材の木材利用を促進し、木材と市民の関係を深める。

2. 事業の内容
 都市公園内の東屋を市産材で木質化する。
 【事業実施主体】松阪市
 【事業費】4,998,240円
 【事業の規模(事業量)】
 東屋1棟(市産材使用量2.832m³)
 ベンチ2基(市産材使用量0.22m³)
 【事業実施期間】平成26年12月～平成27年3月

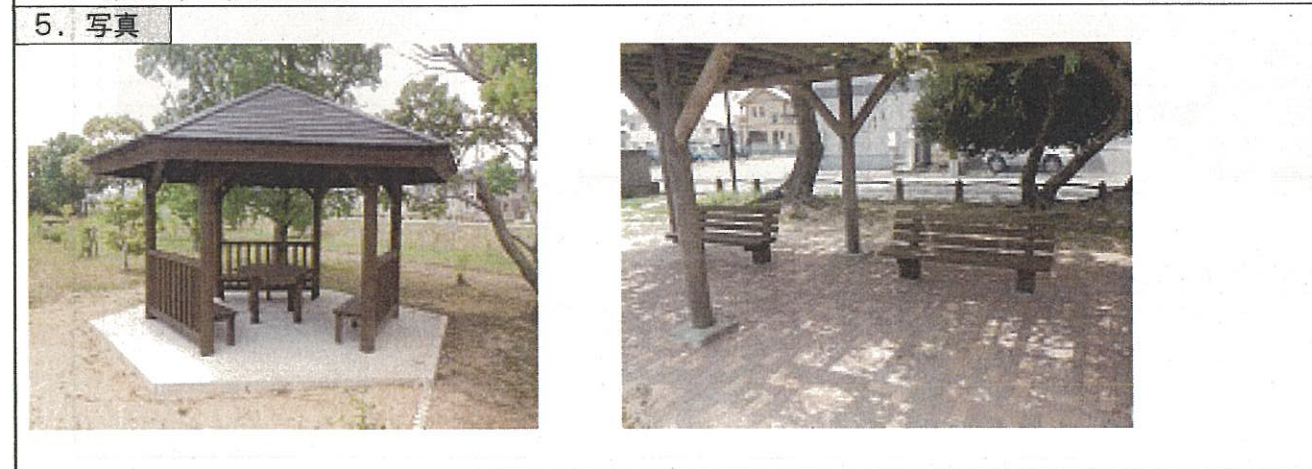
3. 事業の実績と効果
 多くの市民に利用される公園において、市産材で東屋を建築することにより、市民が木材とふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。
 【事業の規模(事業量)】
 阪内川親水公園東屋1棟(市産材使用量2.832m³)
 ベンチ2基(市産材使用量0.22m³)
 【事業の受益者数等】288世帯717人

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	多くの市民に利用される公園において、市産材で東屋を建築することにより、市民が木材とふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まった。
効率性	整備については、競争入札により業者を選定した。
公益性(波及度)	市民が木材とふれあう機会が増えた。(288世帯717人)

【今後の取組方向】
 市民が木材とふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まることから、次年度以降も当該事業を継続実施する。



6. その他特記事項
 整備地に看板を設置予定。(平成27年度)

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	松阪市
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
5	基本・特別	森林公園管理運営事業
事業費 1,082,160円(うち交付金:934,320円)		

1. 事業の目的

地域の身近にある市民の保健、休養の場として活用されている松阪市森林公園において、市産材で木質化することにより、森林と市民の関係を深める。

2. 事業の内容

松阪市森林公園の施設内のテント台及び木柵を市産材で木質化した。

【事業実施主体】松阪市

【事業費】1,082,160円

【事業の規模(事業量)】

テント台の木質化:4棟(面積58.㎡、市産材使用量1.88㎡)

木柵の木質化:(15本、市産材使用量0.03㎡)

【事業実施期間】平成27年1月~平成27年3月

3. 事業の実績と効果

多くの市民に利用される森林公園において、市産材でテントサイトを建築することにより、市民が木材とふれあい機械が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まった。

【事業の規模(事業量)】

テント台の木質化:4棟(面積58.㎡、市産材使用量1.88㎡)

木柵の木質化:(15本、市産材使用量0.03㎡)

【事業の受益者数等】松阪市森林公園来園者数:108,271人/年

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	市民が地域材とふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まった。
効率性	松阪市森林公園を指定管理制度において運営をしている業者が、公園の使用状況を鑑み、効率的に事業を実施した。
公益性(波及度)	松阪市森林公園来園者数は108,271人/年

【今後の取組方向】

松阪市森林公園内の予定箇所は終了したため、当該事業は今年度で終了する。

5. 写真



6. その他特記事項

整備地に看板を設置予定。(平成27年度)

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	伊勢市
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	公園整備事業
事業費		7,680,960円(うち交付金: 7,680,960円)

1. 事業の目的								
伊勢市楠部町地内の倉田山公園内に県産材を活用した東屋を設置し、木の薫る憩いの場を提供する。このことにより、市民の木への関心を深め、県民・市民全体で森林を支える社会づくりを推進する。								
2. 事業の内容								
【事業実施主体】伊勢市 【事業費】7,680,960円 【事業量】木製東屋1棟(25m ²)								
3. 事業の実績と効果								
事業の内容: 木製東屋の設置1棟(25m ²) 当施設の年間利用者数(見込み): 12,000人								
4. 事業の評価と今後の取組方向								
【事業の評価】								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の視点</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>倉田山公園を利用される方々の休憩時や、憩いの場として当施設を利用してもらっている。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>入札については、市内業者参加による競争入札を行った。 落札率92.9%</td> </tr> <tr> <td>公益性(波及度)</td> <td>当施設の年間利用者数は12,000人を見込んでいる。</td> </tr> </tbody> </table>	評価の視点	コメント	有効性	倉田山公園を利用される方々の休憩時や、憩いの場として当施設を利用してもらっている。	効率性	入札については、市内業者参加による競争入札を行った。 落札率92.9%	公益性(波及度)	当施設の年間利用者数は12,000人を見込んでいる。
評価の視点	コメント							
有効性	倉田山公園を利用される方々の休憩時や、憩いの場として当施設を利用してもらっている。							
効率性	入札については、市内業者参加による競争入札を行った。 落札率92.9%							
公益性(波及度)	当施設の年間利用者数は12,000人を見込んでいる。							
【今後の取組方向】								
次年度以降も木製の東屋設置等、検討していきたい。								

5. 写真						
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">着手前</td> <td style="text-align: center;">施工中</td> <td style="text-align: center;">完成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	着手前	施工中	完成			
着手前	施工中	完成				
						

6. その他特記事項
整備地には看板を設置し、財源として「みえ森と緑の県民税」が活用されたことを表示した。

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	紀宝町
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	公共施設木造化事業
事業費		56,836,080円（うち交付金：22,840,000円）

1. 事業の目的
 昭和49年建築の老人福祉施設「紀宝町立鶴殿老人憩の家「讃寿荘」」の改築にあたり、外材ではなく、スギやヒノキの木材をふんだんに使用することにより、木の薫る空間を創出し、併せて災害に強い家づくりにより、特有の香りや調湿性、強靭さなどスギやヒノキの木材の特性を体感しながら憩うことのできる場を町民に提供する。

2. 事業の内容
 老人福祉施設「紀宝町立鶴殿老人憩の家「讃寿荘」」を改築した。
 【事業実施主体】紀宝町
 【事業費】56,837千円
 【事業の規模(事業量)】木造平屋建 延床面積：211.99m²、県産材利用量：41.7m³
 【事業実施時期】平成26年8月～平成27年3月

3. 事業の実績と効果
 木造化の内容：木造平屋建 延床面積：211.99m²、県産材利用量：41.7m³
 老人クラブ会員には木の香りが漂う施設で、日々のサークル活動に取り組んでもらえるようになった。

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	住民からは、木のぬくもりが感じられる老人憩の家が出来上がったとの声が聞かれる。「木を多く使用したおかげで、建物の重厚さが増した」との評価もいただいている。
効率性	改築工事に当たっては、町内業者参加による指名競争入札を行った。（落札率は、98%）
公益性(波及度)	施設の年間利用者数は、延べ3,600人と見込まれる。

【今後の取組方向】
 利用者から高評価を得ていることから、今後とも、町内公共施設の木造化、木質化に取り組んでいく。

5. 写真



改築前



改築後



玄関に設置したロゴマーク

6. その他特記事項
 完成後に執り行なった竣工式において、配布資料に「みえ森と緑の県民税市町交付金」の助成を受けたことを明記して周知した。また、新聞報道においても、交付金の助成を受けていることを記事にもらい、交付金事業の周知に努めた。
 建物玄関に、「みんなで支えるみえの森林づくり」ロゴマーク入りのプレートを設置し、事業のPRをしていく。



Town topics

3/3

01. 新しく建て替えられた讃寿荘。02. 多目的室で行われた竣工式の様子。関係者ら約40人が参列しました。



鵜殿老人クラブの活動拠点が老朽化で建て替え

鵜殿老人憩の家「讃寿荘」が完成!!

鵜殿老人クラブ「讃寿会」が活動拠点にしている「鵜殿老人憩の家「讃寿荘」」の建て替えが終わり、3月3日、竣工式が行われ、東駿会長や西田町長らがテープカットを行い、完成を祝いました。

讃寿荘は、昭和49年の完成から築後約40年が経過し、老朽化が進み、耐震性にも不安があったため、「みえ森と緑の県民税市町交付金」の助成を受け、総事業費は6,103万6千円で建て替えられました。地元木材をふんだんに利用した木造平屋建てで、述べ床面積は約211㎡。多目的室(36帖)や和室(10帖と8帖)、調理室、リラクゼーションルームなどが備えられています。



03. 調理室(20帖)。04. 玄関。05. 多目的室(36帖)。06. 和室(10帖)。07. 完成した讃寿荘の前でテープカットを行いました。

特殊詐欺などの被害を未然に防ぐため

詐欺抑止装置20台を引き渡し

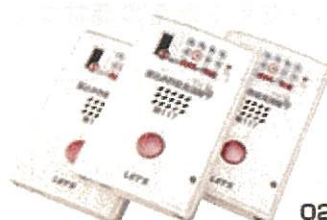
紀宝町は、振り込め詐欺などの電話を使った特殊詐欺に効果があるとされる詐欺抑止装置「振り込め詐欺見張隊」20台を購入し、2月19日、貸し出し窓口となる紀宝警察署に引き渡しました。

全国的に増え続ける特殊詐欺の被害拡大を防止するために購入したこの装置は、電話機とつなぐことで、着信前に「振り込め詐欺などの被害防止のため、会話内容が自動録音されます」とアナウンスを流し、被害を未然に防ぐものです。町が、三重県消費者行政活性化基金を活用して購入しました。署では、2か月の期間をめぐり、希望者に無料で貸し出します。

西田町長から装置を手渡された片岡署長は、「自主防犯意識高揚のため活用し、特殊詐欺の未然の防止を図っていきたい」と謝辞を述べていました。

Town topics

2/19



01. 西田町長から片岡署長に装置が引き渡される。02. 引き渡された詐欺被害防止が期待される詐欺抑止装置。

鶉殿老人憩の家

「讚寿荘」 竣工式

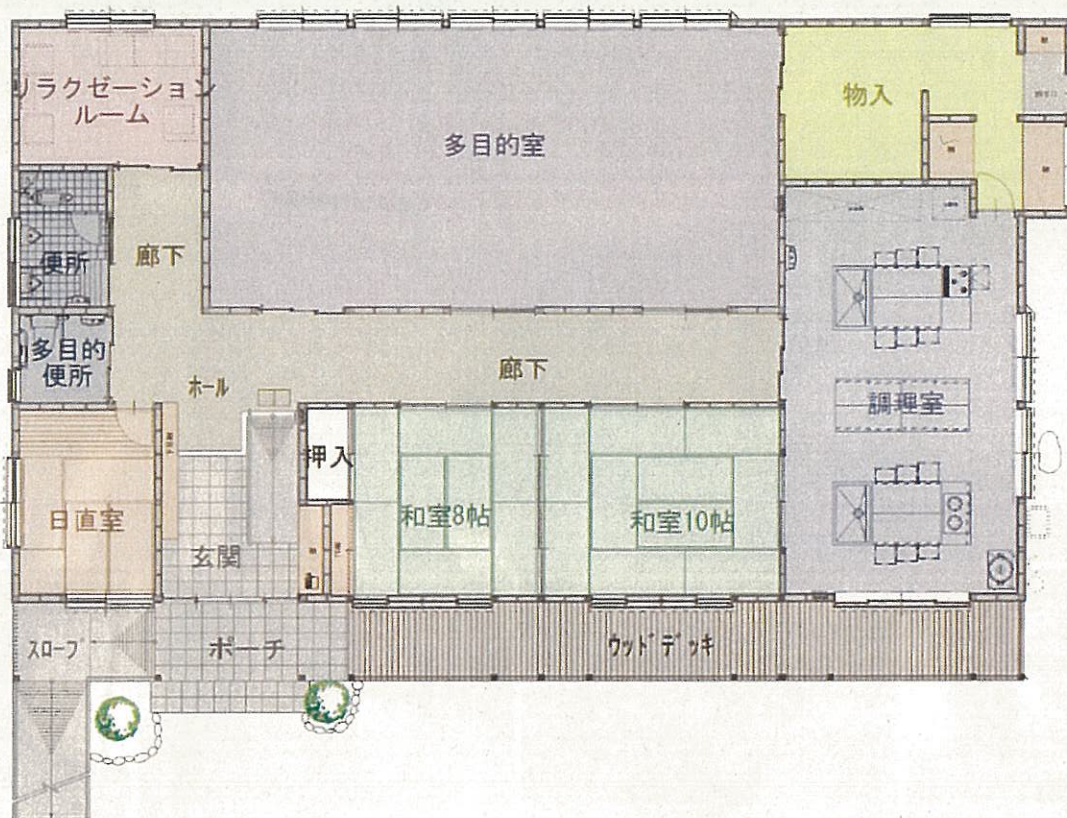


紀宝町

— 2015.3.3 —

概 要

- 位 置 : 紀宝町鵜殿551番地1
- 名 称 : 鵜殿老人憩の家「讚寿荘」
- 構 造 : 木造平屋建
- 延 床 面 積 : 211.99㎡ (64.12坪)
- 施 設 内 容 : 多目的室 (36帖)、和室 (10帖・8帖)、調理室、
リラクゼーションルーム、日直室
- 建 築 工 事 費 : 56,836千円
- 調 査 ・ 設 計 監 理 費 : 4,200千円
- 施 工 業 者 : 福本建設
- 設 計 業 者 : 大原建築設計事務所



鵜殿老人憩の家「讚寿荘」は、みえ森と緑の県民税市町交付金の助成を受けて整備されました。